

名古屋国語教育研究会
「夏の半日研究会」要項

研究主題

未来を創ることばの力
－ 子どもたちが自走する国語教室の創造 －

■日 時 令和7年8月8日（金） 13:15～16:25（受付 13:00～）

■場 所 ウィンクあいち（11・12階 各会議室）

■日 程
＜分科会Ⅰ受付 13:00～＞ ※各会議室

分科会Ⅰ 13:15～14:40	① 書くこと部会	1104会議室
	② 話すこと・聞くこと部会	1202会議室
	③ 中学校・読むこと部会	1204会議室

＜分科会Ⅱ受付 14:50～＞ ※各会議室

分科会Ⅱ 15:00～16:25	① 小学校・読むこと部会	1202会議室
	② 言語・書写部会	1204会議室

■主 催 名古屋国語教育研究会

■後 援 名古屋市教育委員会 名古屋市立小中学校長会
愛知県教育振興会

子どもたちが自律して学び続ける国語教室を目指して

名古屋国語教育研究会会長

名古屋市立鳴海中学校長

服 部 太

猛暑日が続く中、今年度も国語教育に対して「熱いハート」をもった先生方にご参会いただき、名古屋国語教育研究会主催の「夏の半日研究会」を開催することができますことを大変うれしく思います。

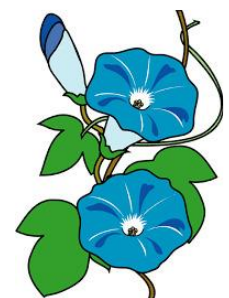
小学校と中学校の先生方が一緒に学べる研究会は、全国的に見ても珍しいと言われる中、本研究会では、「国語教育実践者会議（土曜会）」の名で発足した時以来、このスタイルを大切にしています。「実践を第一義とし、教室に拘泥する」という実践者としての精神は、脈々と今に受け継がれています。

さて、名古屋国語教育研究会の研究主題が「未来を創ることばの力」となって3年目となります。子どもたちが、能動的に自分たちで未来を創っていくためのことばの力を身に付けるために、3年間、その学び方を考えてきました。先日のオンライン講演会においても、講演会後の質疑の中で、先生方が、子どもの主体的な学びの実現に向けて、日頃から様々トライしておられる姿を垣間見ることができました。

私たち教師は、子どもたちが、他者から与えられる学びではなく、自分が何を学びたいのか、学ぶ必要があるのかを判断して、自律して学び続ける姿を求めていく必要があります。

「子どもたちが自走する国語教室の創造」というサブテーマのもと、子どもたち自身が自己選択・自己決定して学びを進める実践の中で、いかに資質・能力を向上させていくかについて、熱い議論ができれば幸いです。

ここにお集まりの皆様にご敬意を表し、明日からの国語教室が一層充実したものとなるようご尽力いただくことを切に願っています。



「未来を創ることばの力」 ～ 子どもたちが自走する国語教室の創造 ～

1 本テーマ「未来を創ることばの力」について

子どもたちが生きる社会は、日々めまぐるしく変化している。このような予測困難な社会の中で幸せに生きていくためには、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、ゆるやかな協働性の中で仲間と関わり合いながら社会を切り拓いていくことが求められる。そのためには、物事を正確に理解し、論理的に思考し、豊かに想像し、適切に表現することができる「ことばの力」が不可欠である。

このような考えに立ち、私たち国語教師は、これまで以上に子どもたちのもつ力と可能性を信じ、ことばで未来を創造していく子どもを育てたいと考え、本テーマを設定した。

2 サブテーマ「子どもたちが自走する国語教室の創造」について

(1) 子どもたちが自走する学び

本テーマに迫るために、私たち国語教師は、自らがことばと向き合い、自らのことばの世界を創っていかうとする主体的なことばの学び手の育成を図っていく必要がある。

そのためには、子どもたちが学ぶペースや方法、内容などを自己選択・自己決定し、学習指導要領における、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の観点として示されている「粘り強さ」と「自己調整力」を十分に発揮できる学びの中で、確かな資質・能力を育成することが重要である。

このような学びを、子どもたちが自走する学びと定義する。

(2) 研究の経過

令和6年度は、2年次の取組として、各部会において「自走する子どもたちの姿」について議論を重ね、その具体化に向けて、自己選択・自己決定に関わる手だて、学びに見通しをもち、振り返りながら学び続けるための手だて、伴走者としての教師の支援の在り方などについて研究を進めてきた。その研究成果を受け、自走する学びの中で、資質・能力の育成を最大限図ることができるようにするために、以下のように研究を進めていくこととする。

3 研究の方法

学習に応じて、子どもが自走する場面や内容等について、効果的な設定の仕方を考える必要があることを前提とし、次の視点を踏まえて研究を進める。

- ・ 本単元、本教材で、子どもたちに身に付けさせたい力について考える。
- ・ そのために、何を自己選択・自己決定するとよいかを考える。
- ・ 「粘り強さ」と「自己調整力」を発揮しながら学習を進めていけるようにするための教師の伴走の仕方等について考える。

分科会番号Ⅰ① 書くこと部会

1 使用教材（単元）

「おもちゃのせつめい書を書こう」（小2年）

「説得力のある文章を書こう」（小6年）

2 提案

課題と向き合い、見通しをもって、主体的に学びを進める実践について、報告とともに提案をします。単元計画のあり方や、振り返り、教師の関わり方の手立てについて考えていきたいと思います。

3 分科会の流れ

		司会：千石小 厚東 彩 先生
13:15	○ はじめに	旭丘小 千崎 晶美 先生
13:20	○ 実践報告と提案①：小2年の実践 （30分）	
		東桜小 松井 雄大 先生
	★「シンキングサイクル」と「フィードバック」	
13:50	○ 実践報告と提案②：小6年の実践 （30分）	
		御劔小 大野 貴子 先生
14:20	★「コネクトシート」と「MY目標」	
	○ 感想・意見の交流（10分）	
14:30		記録：光城小 矢藤 幸子 先生
	○ まとめ	
		高田小学校長 秋田 義仁 先生
14:40	○ アンケート記入	
	○ 終了	

4 今後の部会の予定等

日 時：9月10日（水）18:30～

会 場：イーブルなごや

連絡先：東区 旭丘小学校 千崎晶美（Tel 936-7291 IP 71-2201）

分科会番号Ⅰ② 話すこと・聞くこと部会

1 使用教材（単元）

「お気に入りの場所、教えます」（小3年）

2 提案

自分が身に付けたいことばの力を意識して、自己選択、自己決定しながら主体的に学びを進める自由進度学習や、教師の支援の仕方について提案し話し合います。

3 分科会の流れ

	司会：城北小 菱田 陽祐 先生
13:15	○ あいさつ・全体の流れの説明（5分）
13:20	○ <u>授業提案</u> （30分）
	提案 岩塚小 岡田 拓未 先生
	浦里小 瀬瀬 祐輝 先生
	豊田小 長坂 耕司 先生
13:50	○ 休憩（10分）
14:00	○ 小グループでの意見交流・発表（23分）
14:23	○ 感想（5分）
14:28	○ まとめ（7分）
	植田小学校校長 野々川 康弘 先生
14:35	○ アンケート記入
14:40	○ 終了

4 今後の部会の予定等

日時：9月下旬 18:30～

会場：植田小学校

連絡先：西区 平田小学校 住田 美佳（Tel 502-2017 IP 71-2414）

分科会番号Ⅰ③ 中学校・読むこと部会

1 使用教材（単元）

「温かいスープ」（中3年）

2 提案

読むことにおける自走する学びを実現するための、教師の手立てを中心に提案します。

3 分科会の流れ

	司会：当知中 水迫 宏明 先生	
13:15	○ あいさつ・全体の流れの説明 矢田中 西 弘満 先生	
13:17	○ 中3年『温かいスープ』授業提案 (25分) 提案：森孝中 帯金 徹 先生	
13:42	* 座席移動・説明	
13:45	○ グループに分かれての協議	(25分)
14:10	○ グループに分かれて協議した結果の共有	(10分)
14:20	○ 提案者から	(5分)
14:25	○ まとめ 守山西中学校長 西脇 治郎 先生	(10分)
14:35	○ アンケート記入	
14:40	○ 終了	

4 今後の部会の予定等

日時：9月下旬 18:30～

会場：イーブルなごや

連絡先：東区 矢田中学校 西 弘満 (Tel722-5281 IP71-2234)

分科会番号Ⅱ① 小学校・読むこと部会

1 使用教材（単元）

「固有種が教えてくれること」（小５年）

「『鳥獣戯画』を読む」（小６年）

2 提案

説明文「固有種が教えてくれること」（小５年）を実践した成果と課題を基に、「『鳥獣戯画』を読む」（小６年）の学習において、児童が自らの課題解決に向けて、自走し、仲間と協働しながら学び進める授業について提案します。

3 分科会の流れ

	司会：豊岡小 伊藤 隆 先生		
15:00	○	研究概要 （10分）	
		提案 松栄小 澤野 佑輔 先生	
15:10	○	小５年「固有種が教えてくれること」実践報告 （15分）	
		報告 上野小 宮崎 大樹 先生	
15:25	○	小６年「『鳥獣戯画』を読む」授業提案 （35分）	
		提案 大森小 川嶋 大介 先生	
		万場小 濱崎 譲 先生	
16:00	○	感想・意見の交流（10分）	
16:10	○	まとめ（10分）	
		春日野小学校長 笠原 誠康 先生	
16:20	○	アンケート記入（5分）	
16:25	○	終了	

4 今後の部会の予定等

日 時：9月25日（木）18:30～

会 場：イーブルなごや

連絡先：緑区 南陵小学校 早川 貴之（Tel 623-6381 IP 71-3420）

分科会番号Ⅱ② 言語・書写部会

1 使用教材（単元）

「翻訳作品を読み比べよう」（中2年） 言語
「点描の筆使い」（小4年） 書写・言語

2 提案

「言葉や文字に思いや意図をのせて表現しようとする子どもの育成」をテーマに、自走する学びの仕組みを設定しながら、言葉や文字にこだわって使う姿勢を身に付けていく実践を提案します。

3 分科会の流れ

		司会：愛知小 岡島 靖浩 先生 桜丘中 小川 拓海 先生
15:00	○	全体の流れの説明
15:05	○	二つの翻訳における表現の違いに着目した言語の実践 （10分） 提案：港北中 古安 良啓 先生 ★ 二つの翻訳作品を読み比べ、各々の表現の違いに気付くことで、翻訳者の思いや意図を知り、原作をより深く味わう実践の紹介。
15:15	○	書写カードを活用した言語活動に繋げる書写の実践 （10分） 提案：南陽小 横井 麻乃 先生 ★ 点画の「とめ」「はね」「はらい」を中心に自分で課題を設定し、練習する。その後、同じ「とめ」「はね」「はらい」をもつ漢字を教科書から探して応用し、課題解決を図る実践の紹介。
15:25	○	質疑応答（10分）
15:35	○	休憩（10分）
15:45	○	授業のアイデア紹介（20分） ★ 各部員から授業ですぐ使えるアイデアを紹介
16:05	○	感想・意見の交流（10分）
16:15	○	まとめ 守山小学校長 市野 篤史 先生
16:20	○	アンケートの入力
16:25	○	終了

4 今後の部会の予定等

日時：10月中旬 18:30～

会場：イーブルなごや

連絡先：港北中学校 古安 良啓（TEL381-0121 IP71-3132）

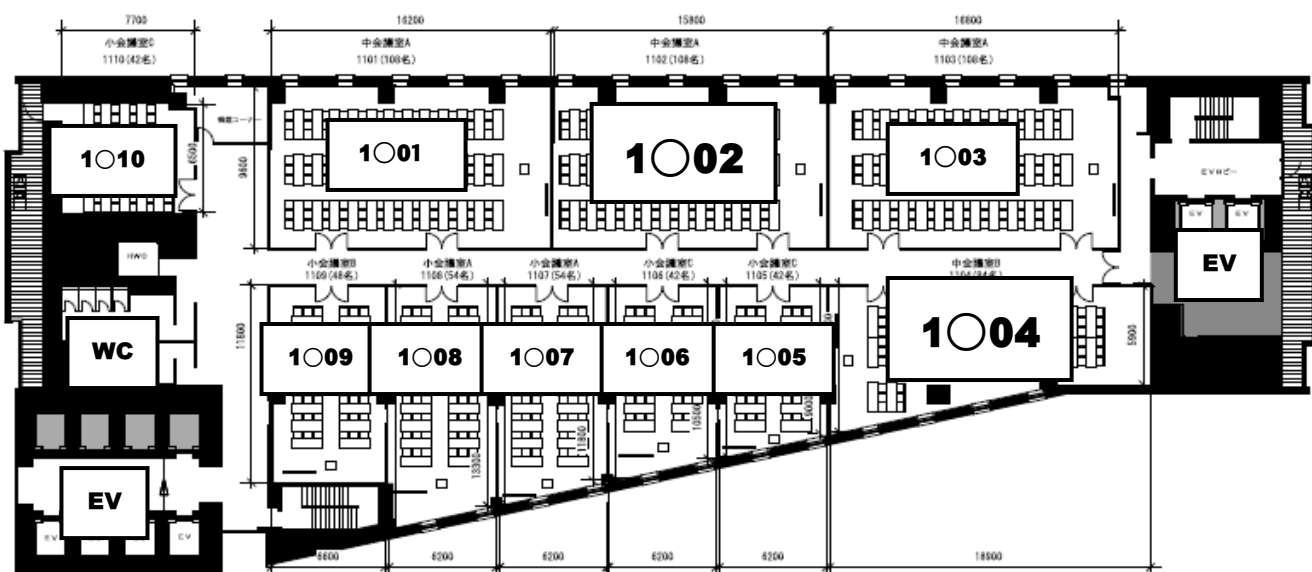
黄金中学校 戸田 真（TEL481-9451 IP71-2536）

【会場】ウインクあいち

分科会Ⅰ・Ⅱ 各会議室にて

	受付	分科会	会場（11・12階 各会議室）		
			1104 （11階）	1202 （12階）	1204 （12階）
分科会Ⅰ	13:00～	13:15～14:40	① 書く	② 話す・聞く	③ 中・読む
分科会Ⅱ	14:50～	15:00～16:25		① 小・読む	② 言語・書写

11・12階（間取りは同じです）



ウインクあいち アクセス

〒450-0002

名古屋市中村区

名駅4丁目4-38

- ・ JR 桜通口から：徒歩5分
- ・ ユニモール地下街5番出口から
：徒歩2分
- ・ 名駅地下街サンロードから
：徒歩8分

